

## 令和4年度第2回新潟県立図書館協議会

日時：令和5年3月17日（金）午後2時から4時

場所：新潟県立図書館2階 大研修室

### 会 議 次 第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 議 事

- (1) 令和4年度新潟県立図書館運営に対する評価（案）について
- (2) 令和5年度新潟県立図書館運営基本方針及び行動計画（案）について

#### 4 その他

#### 5 閉 会

#### 【配布資料一覧】

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 資料1   | 令和4年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価       |
| 資料2   | 令和4年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート（実績・見込） |
| 資料3   | 新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）          |
| 資料4   | 新潟県立図書館運営基本指針 行動計画（修正案）             |
| 参考資料1 | 電子書籍サービス導入について                      |

## 令和4年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価(案)

## 1 評価項目(指標)

## (1) 地域社会への貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア [行政連携] ギャラリー展示回数	6回	6回	1回	7回	117%	A
イ [行政連携] コーナー展示回数	24回	26回	2回	28回	117%	A
ウ 県庁貸出冊数	120冊	160冊	10冊	170冊	142%	A
エ 越後佐渡DL デジタル化画像数	1,000点	0点	2,650点	2,650点	265%	A
オ 越後佐渡DL アクセス件数	12,000件	9,026件	2,500件	11,526件	96%	B
カ 郷土人物/雑誌記事索引DB収録数	2,500件	590件	3,658件	4,248件	170%	A
キ 郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5,300件	3,628件	800件	4,428件	84%	C

## (2) 県内図書館への貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	16,000冊	10,837冊	3,440冊	14,277冊	89%	C
イ 訪問等回数(研修以外)	20回	17回	4回	21回	105%	A
ウ 高等学校図書館への協力貸出冊数	120冊	441冊	5冊	446冊	372%	A
エ 市町村職員向け研修会等参加人数(訪問研修以外)	200人	226人	20人	246人	123%	A
オ 市町村訪問研修回数	10回	12回	3回	15回	150%	A
カ 訪問研修メニュー数	5			4	80%	C

## (3) 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア 入館者数	400,000人	246,946人	48,077人	295,023人	74%	D
イ 個人貸出冊数	450,000冊	362,446冊	76,823冊	439,269冊	98%	B
ウ レファレンス協同DB登録件数	40件	0件	40件	40件	100%	A
エ SNSへの記事掲載回数	120回	99回	21回	120回	100%	A
オ サピエ資料の貸出冊数	240点	118点	24点	142点	59%	E
カ 職員全体研修会の開催(館内)	2回	2回	0回	2回	100%	A
キ 館内研修における職員の発表回数	10回	10回	0回	10回	100%	A
ク 職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修除く)	平均2回			平均2.2回	108%	A

## 2 図書館協議会による評価

上記評価項目について、図書館協議会委員による外部評価を実施する。

# 令和4年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート(実績・見込)

## 1 地域社会への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部署とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署へのPR</li> <li>展示の実施</li> <li>「読書お便りコンクール」市町村巡回展示の実施</li> </ul>	ギャラリー展示回数【6回】	コラボ展示について庁内に連携の呼びかけを行い、各部署から展示要望が寄せられた。 年度前半は県立高等学校や一般県民の利用が多かったが、県各部署との連携展示は後半に集中して実施した。 <実績> ①めざせ！食品ロス削減パネル展 (県環境局資源循環推進課) 9.27~10.18 ②読書おたよりコンクール受賞作品展示 10.25~11.27 ③「海洋プラスチック」削減に向けたパネル展 (県環境局資源循環推進課) 11.8~22 ④新潟県環境保全ポスターコンクール受賞作品展 (県環境局環境政策課) 1.17~30 ⑤「いのち・愛・人権」パネル展 (新潟県人権・同和センター) 1.17~30 ⑥拉致問題を考える巡回パネル展 (県知事政策局国際課) 1.30~2.14 ⑦にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県農林水産部林政課) 3.14~28	6回	1回	7回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	庁内に連携の呼びかけを行い、各部署から展示要望が寄せられた結果、当初目標を達成した。次年度も引き続き、行政連携による県施策の情報発信に取り組んでいく。昨年度から開始した「読書お便りコンクール」市町村巡回展示は県内4館で開催予定で、読書活動推進のPRにつながっている。	A	
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	コーナー展示回数【24回】	県職員専用ポータルサイトを活用して庁内に呼びかけを行うとともに、来館者の関心が高そうな施策について当館から連携を打診し展示につなげた。 展示資料及び施策をより効果的にPRできるよう、展示コーナー内でブックリストや連携先から提供されたパンフレット、プレゼント付きのアンケート、啓発グッズ等の配布を実施した。また、ホールでのイベントやギャラリー展示と連動させた展示も実施した。 (連携実績) 食品・流通課、県立歴史博物館、生涯学習推進課、障害福祉課、県立近代美術館、観光企画課、県立歴史博物館、健康づくり支援課、県立万代島美術館、県民生活課、人権啓発室、広報広聴課	26回	2回	28回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県施策に関する図書のPR展示について様々な部署から申込みがあり、多彩なテーマで展示を実施することができた。パンフレットや啓発グッズは来館者にも好評で、県施策のPRにつながった。またアンケートも多くの方にご回答いただき、展示を実施した部署においては県民の意見を聴取する貴重な機会にもなったと思われる。	A	
	県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手続改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	県庁貸出冊数【120冊】	県行政を支える取組として県各部署や職員への情報提供によるサポート体制の充実を目指し、申込方法の簡素化などの運用改善を図った。 県職員専用ポータルサイトを活用してサービスの周知を実施した。 この他にも、通常業務で他部署と情報交換を行った際に県庁貸出サービスを紹介し、その後、活用につながった事例があった。	160冊	10冊	170冊	達成率142% 評価 (5) 100%以上	県職員専用ポータルサイトでの呼びかけにとどまらず、日常業務で交流した折など、様々な機会をとらえて県各部署へPRを行ったことにより、認知度の向上につながっている。	A	

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績 （～1月）	見込 （2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>		新聞や機関誌などのチェックにより郷土資料の出版情報を多角的に収集した。行政資料の収集については欠号状況・出版状況のチェックを行い、寄贈依頼・受入れを進めた。今までデータベース化に至っていなかった過去の行政資料やパンフレット類についても、データ作成・製本・受入に取り組んだ。書庫内でのカビ除去作業も適宜進めており、書庫入口の粘着マット設置などによるカビ防止策も継続して行っている。					行政資料については、概ね順調に寄贈依頼・受入れを進めることができた。今年度は大口の寄贈申込みがあり、公用車で受取りに行き、貴重な資料の受入れを行うことができた。HPでの郷土資料寄贈の呼びかけを更に工夫して積極的な収集に努めていきたい。		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	デジタル化画像数【1,000点】	予定通り4機関に参加いただき無事撮影を行った。令和5年3月までにデジタルライブラリに追加・公開する予定である。	0点	2,650点	2,650点 (画像数)  (撮影資料点数56)	達成率265% 評価(5) 100%以上	当初の年間スケジュールどおり作業を進めることができた。撮影した資料点数は56となり、合計で2,650画像となった。	A	
			アクセス件数【12,000件】	ホームページ上で「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー」を2ヶ月ごとに更新して、ツイッターでもPRに努めた。併設の文書館主催の講座と連携して、デジタル化した資料の現物を閲覧室内でも展示するなど利用者へのPRを行った。	9,026件	2,500件	11,526件	達成率96% 評価(4) 90～100%	ギャラリーの更新を定期的実施し、SNSでのPRも行ったが目標達成には至らなかった。3月の新規データ公開に合わせ、さらにPRを行っていきたい。	B	
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引、郷土雑誌記事索引のいずれも予定していた採録対象資料のデータ登録を終了した。	590件	3,658件	4,248件	達成率170% 評価(5) 100%以上	目標を超える4,248件の登録を行うことができた。今後も登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A	
			アクセス件数【5,300件】	郷土人物について調べる際のデータベースの使い方を案内するページを作成してPRしていく。3月上旬に「人物ピックアップ！河井継之助」を公開する予定である。	3,628件	800件	4,428件	達成率84% 評価(3) 80～90%	昨年度よりはアクセス数が増加したが、目標値を下回った。ホームページのリニューアルに併せて更なるPRを行っていきたい。	C	

## 2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>展示用コレクションの貸出</li> </ul>	協力貸出冊数【16,000冊】	従来の制度での協力貸出に加え、昨年10月に開始した市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを本格化させた。市町村図書館からの購入図書のリクエストを常時受け付けており、これによりニーズを把握している。	10,837冊	3,440冊	14,277冊	達成率89% 評価 (3) 80~90%	新型コロナウイルス感染症による利用者の行動変容に加え、冬季の大雪等が図書館に出かけるという行動を鈍らせた結果と分析している。目標値を下回っているものの、今後も県内市町村との情報交換によりニーズを把握し、利用につながる蔵書の充実を図っていく。また、次年度はSNS等を活用して制度の活用を積極的に訴え、利用促進を図りたいと考えている。	C	
	県内図書館等への訪問の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施</li> </ul>	訪問等回数 (研修以外)【20回以上】	<p>以下の訪問事業を実施し、各館の相談対応や情報交換等を行った。</p> <p>①5月26日 訪問相談 (県立羽茂高校図書館)</p> <p>②6月3日 新館視察 (長岡市立栃尾図書館)</p> <p>③6月28日 訪問相談 (県埋蔵文化財調査事業団)</p> <p>④6月29日 阿賀野市学校図書館協議会図書館主任研修会 (阿賀野市立神山小学校)</p> <p>⑤6月30日 新潟県立・市立・大学図書館相互協力担当者会議 (新潟市立中央図書館)</p> <p>⑥7月8日 訪問相談 (県立長岡高校図書館)</p> <p>⑦7月22日 訪問相談 (柏崎市立図書館)</p> <p>⑧7月29日 訪問相談 (十日町高等学校図書館)</p> <p>⑨8月31日 訪問相談 (県立柏崎高校図書館)</p> <p>⑩9月21日 電子図書館サービス実施状況ヒアリング (三条市教育委員会)</p> <p>⑪9月21日 電子図書館サービス導入検討状況ヒアリング (田上町教育委員会)</p> <p>⑫9月26日 訪問セミナー (弥彦村公民館図書室)「地域資料の収集と活用」</p> <p>⑬10月6日 訪問セミナー (小千谷市立図書館)「地域資料の収集と活用」</p> <p>⑭11月18日 訪問相談 (県高校図書館協議会柏崎地区連絡会)</p> <p>⑮11月18日 新潟県視覚障害者情報センター事業推進懇談会 (県視覚障害者情報センター)</p> <p>⑯11月30日 訪問相談 (出雲崎町立出雲崎図書館)</p> <p>⑰11月11日 第2回新潟県立・市立・大学図書館相互協力担当者会議 (新潟市立中央図書館)</p> <p>⑱2月9日 障害者サービス担当者情報交換会 (県視覚障害者情報センター)</p> <p>⑲2月10日 訪問相談 ( (田上町地域学習センター)</p> <p>⑳3月1日 訪問相談 (長岡市立中央図書館)</p> <p>㉑3月13日 訪問相談 (弥彦村公民館図書室)</p>	17回	4回	21回	達成率105% 評価 (5) 100%以上	年度当初の目標を達成した。次年度は電子図書館サービスの検討状況等も踏まえながら、引き続き相談や情報交換等により、状況に応じたきめ細かな支援を行っていききたい。	A	
	県立高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校への訪問相談</li> <li>協力貸出の推進</li> <li>連携事業の実施</li> </ul>	高等学校協力貸出冊数【120冊】	県立学校への図書貸出サービスに関するチラシ(利用カード作成の案内を含む)、サービス利用マニュアルを作成し、5月末に県立高等学校等へ配布をした。	441冊	5冊	446冊	達成率372% 評価 (5) 100%以上	学校図書館司書との情報交換の機会が増え、学校現場での資料のニーズや活用方法、意見などを詳しく聞くことができるようになった。今後も、より多くの学校と気軽に意見が言える関係を築き、現場の意見をサービス改善や選書に役立てていきたい。	A	

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績 （～1月）	見込 （2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修等の実施</li> <li>・オンライン研修</li> <li>・訪問研修の実施</li> <li>・訪問研修メニューの改善</li> <li>・参考となる図書の紹介・貸出</li> </ul>	研修会等参加人数 （訪問研修以外） 【200人】	<p>オンライン形式を取り入れ、より多くの職員が参加しやすくなるよう取り組んだ。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①5月25日 視覚障害者サービス研修基礎編（オンライン）33人</p> <p>②6月16～17日 新潟県公共図書館新任職員研修会（1日目・会場11人、オンライン15人 2日目・会場10人、オンライン15人）計51人</p> <p>③7月1日 新潟県公共図書館児童部門研究集会（集合）39人</p> <p>④9月27日 新潟県公共図書館中堅職員研修（オンライン）50人</p> <p>⑤10月4日 新潟県公共図書館総合部門研究集会（オンライン）40人</p> <p>⑥11月25日 視覚障害者サービス研修基礎編（オンライン）13人</p> <p>⑦3月8日 新潟県公共図書館専門職員研修会（オンライン）人</p>	226人	20人	246人	達成率123% 評価（5） 100%以上	年度当初の目標を達成した。視覚障害者サービス研修基礎編をオンラインで実施し、より多くの参加が得られた。遠隔地の図書館を中心にオンライン研修の要望があるため、次年度も開催方法を工夫しながら充実した内容の研修を実施し、県内図書館のレベルアップを図っていく。	A	
			市町村訪問研修回数 【10回以上】	<p>以下の訪問研修を実施し、県内図書館の人材育成に取り組んだ。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①6月24日 視覚障害者サービス研修・実践編（上越市立高田図書館）</p> <p>②6月30日 視覚障害者サービス研修・実践編（柏崎市立図書館）</p> <p>③7月6日 視覚障害者サービス研修・実践編（佐渡市立両津図書館）</p> <p>④7月7日 レファレンス研修・初級編（新発田市立中央図書館）</p> <p>⑤7月11日 レファレンス研修・初級編（新潟医療福祉大学図書館）</p> <p>⑥9月12日 レファレンス研修・初級編（弥彦村公民館図書室）</p> <p>⑦9月26日 レファレンス研修・郷土レファレンス編（十日町図書館）</p> <p>⑧10月13日 視覚障害者サービス研修・実践編（新発田市立中央図書館）</p> <p>⑨11月2日 資料修理や保存の基礎（新潟大学附属中央図書館）</p> <p>⑩11月18日 資料修理や保存の基礎（聖籠町立図書館）</p> <p>⑪11月28日 レファレンス研修・初級編（燕市立図書館）</p> <p>⑫1月13日 資料修理や保存の基礎（村上市立中央図書館）</p> <p>⑬2月1日 レファレンス研修・初級編（新潟市立中央図書館）</p> <p>⑭2月27日 レファレンス研修・初級編（弥彦村公民館図書室）</p> <p>⑮3月6日 資料修理や保存の基礎（長岡市立中央図書館）</p>	12回	3回	15回	達成率150% 評価（5） 100%以上	年度当初の目標を達成した。図書館サービスの要であるレファレンス研修のニーズが依然として高いため、次年度も引き続き研修内容の向上を図りつつ、目標の達成を目指していきたい。	A	
			訪問研修メニュー数 【5】	<p>視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を再編成し、基礎編（オンライン）と実践編の2段階で実施、研修メニューの改善と充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者サービス研修・実践編</li> <li>・レファレンス研修（初級編）</li> <li>・レファレンス研修（郷土編）</li> <li>・資料の修理や保存の基礎</li> </ul>	4	→	4	達成率80% 評価（3） 80～90%	訪問セミナーの経験値蓄積により内容を向上させ、研修として実施できるよう取り組む予定であったが、前半はコロナウイルス感染症の影響もあり訪問の実績が伸びず、メニュー数の増加には繋がらなかった。次年度は訪問セミナーの内容をブラッシュアップさせ、研修メニューに加えることで目標の達成を目指していきたい。	C	

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組(実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	利用サービスの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・調査相談(レファレンス)機能の向上</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>	入館者数【40万人】 ※コロナ禍の影響を考慮	県職員専用ポータルサイトでの職員へのお知らせやツイッターでの情報発信に努めるとともに、資料の貸出サービスに際して利用者の利便性を高めるため手続きを簡素化するなどの改善を実施した。また、利用者要望に応じて館内の利用環境改善のや利用ガイド等の改訂作業を進めている。	246,946人	48,077人	295,023人	達成率74% 評価(2) 70~80%	県内における新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着きつつあり、秋には入館者数も復調傾向にあったが、12月から1月にかけての大雪により来館者が減少した。新型コロナウイルス感染症の5類移行に備え、利用環境の改善に取り組んでいく。	D	
			貸出冊数【45万冊】 ※コロナ禍の影響を考慮	資料費の削減に対応しながら、引き続き資料収集方針のもと効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や県各部署との連携展示を積極的に行い、資料の利用促進を図った。併せて書架内展示や資料の見せ方の工夫など、魅力ある棚づくりに努めた。	362,446冊	76,823冊	439,269冊	達成率98% 評価(4) 90~100%	様々な取組により11月までの貸出冊数は順調に推移していたが、12月から1月にかけての大雪により来館者が減少し、その後の貸出冊数も伸び悩んだ。例年、気候が安定する2、3月は来館者数が回復する傾向にあることから、引き続き利用促進に取り組んでいく。	B	
			レファレンス協同データベース登録件数【40件】	利用者から寄せられた調査相談内容から、主に郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動に資すると思われる事例や関心が高いと思われる事例を選定してデータ登録し、インターネット上に一般公開する。	0件	40件	40件	達成率100% 評価(5) 100%以上	2月末に新規データを一般公開したことにより、一般に公開している登録データは680件から720件に増加した。当館登録データの直近1年間におけるページビューは105,754回に上っており、県内外を問わず、新潟県に関する調査研究活動に寄与することができている。次年度以降も引き続き、調査相談機能の向上に取り組んでいきたい。	A	
			SNSへの記事掲載回数【120回】	子ども向けイベントの情報や児童青少年向けコーナー等の若年層向けの情報や、周辺景観の様子をツイッターを活用して発信し、来館利用に繋がるように取り組んだ。	99回	21回	120回	達成率100% 評価(5) 100%以上	年度当初の目標を達成した。フォロワー数も徐々に増えてきており、図書館をより身近に感じてもらえるツールとして、次年度以降も活用していきたい。他館の事例等も参考にしつつ、図書館へ関心を持ってもらえる、来館のきっかけに繋がる取り組みを考えていきたい。	A	
読書に困難のある県民へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新コーナー設置と資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サビエ等サービスのPR</li> </ul>	サビエ資料の貸出冊数【240点】	視覚障害者情報センターと連携して実施した「市町村図書館職員向けの障害者サービス研修」では、オンライン型・訪問型の両方でサビエ活用の呼びかけを行った。12月にギャラリーで「見て、聴いて、楽しむ!バリアフリー読書」展示および関連イベントを実施し、サビエをはじめとした障害者向け資料やサービスの普及・啓発に努めた。サビエ資料を利用するための登録手続きについて、障害等により自力での申込書記入が困難な方に対し、電話による利用登録ができるよう制度を拡充した。	118点	24点	142点	達成率59% 評価(1) 70%未満	サビエの利用者は昨年より若干名増加したものの、継続利用につながらない場合もあり、全体的な貸出冊数は伸びなかった。引き続き関連団体に向けたPR方法を検討していく。また、次年度導入予定の電子書籍サービスについても、それぞれのニーズにあった資料を提供できるよう、より効果的な広報の方法を検討していきたい。	E		
子どもや若い世代の読書推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応を踏まえた子ども向けイベントの再開</li> <li>・高等学校への協力貸出(再掲)</li> </ul>		12月から読み聞かせイベントを再開した。毎週金曜日の午前、午後の2回開催し、換気、消毒、検温等の感染症対策をとりながら、職員が絵本の読み聞かせと手遊びを行っている。会場であることも図書室の入室組数制限(5組まで)があるため、同じ内容を同日2回行うことで、参加者の分散を図り、安心して参加できるよう配慮している。小学生対象のイベントとして、夏休みに調べ学習相談室、12月の障害者週間に点字の体験会を実施した。  県立学校への図書貸出サービスに関するチラシ(利用カード作成の案内を含む)、サービス利用マニュアルを作成し、5月末に県立高等学校等へ配布をした。(再掲)					読み聞かせイベントの再開が冬季になり、積雪等のためコロナ前ほどの参加者数には至っていないが、毎週数組ずつ参加がある。小学生向けのイベントは、イベントを目的に来館し参加して下さった方もおられ、新規の利用にもつながった。  学校図書館司書との情報交換の機会が増え、学校現場での資料のニーズや活用方法、意見などを詳しく聞くことができるようになった。今後も、より多くの学校と気軽に意見が言える関係性を築き、現場の意見をサービス改善や選書に役立てていきたい。(再掲)			

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績 （～1月）	見込 （2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の育成	職員の研修機会の 充実	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	職員全体研修会の開催【2回】	6月の開館日に、参加人数を分けて複数回行うやり方で、全体研修を実施した。 10月は蔵書点検による休館期間中に、全員参加での研修を実施した。 ＜実績＞ ・6月 電子書籍サービスについて ・10月 認知症の基礎知識と基本的対応について	2回	0回	2回	達成率100% 評価（5） 100%以上	年間計画を立て予定どおり2回実施できた。全員が同時に受講する機会を確保することが難しいため、分散型（複数回）の研修方法も実施した。 今後も研修内容や方法を工夫し、図書館サービスのレベルアップにつなげていきたい。	A	
			館内研修における職員の発表回数【10回】	オンライン研修等を活用してより多くの職員が研修を受講した。研修成果を共有するため、各職員が受講した研修について報告し、質疑応答を行う伝達研修を実施した。 ＜実績＞ ①Japan Open Science Summit 2022 ②県内公共図書館総合部門研究集会 ③関東地区公共図書館研究発表大会 ④関東地区公共図書館研究発表大会 ⑤子ども読書レベルアップ研修 ⑥全国図書館大会 ⑦関東甲信越静区別研修 ⑧「がん情報ギフト」5周年記念フォーラム ⑨国立国会図書館障害者サービス担当職員向け講座 ⑩図書館等公衆送信サービス	10回	0回	10回	達成率100% 評価（5） 100%以上	図書館業務に関する知識やスキルを高め、サービス向上につなげるため、全体研修の機会に10名の職員が研修成果を発表した。 また、指標の実績には加算していないが、図書館の新サービスに関する研修を若手職員が講師となり行った。今後も、受講者による伝達研修や図書館サービス研修の機会を設け、職員の能力向上を図っていきたい。	A	
			職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修を除く）【平均2回】	オンライン研修等を活用することによって、職員の受講機会を確保することができた。 ＜実績＞ ①5月24日 メディア研修会（Zoom操作）2名 ②5月31日 キャッシュレス決済導入研修3名 ③6月10日 JAPAN OPEN SCIENCE SUMMIT (JOSS) 2022 2名（オンライン） ④7月1日 新潟県公共図書館児童部門研究集会1名 ⑤7月7日 サビエ研修会1名（オンライン） ⑥7月22日～ 関東地区公共図書館協議会研究発表大会3名（オンデマンド） ⑦8月2日 障害者サービス担当職員養成講座（基本編）1名（オンライン） ⑧8月18日、9月9日 レファレンス共同DB担当者研修会1名（オンライン） ⑨8月30日～9月1日 新任図書館長研修会1名（オンライン） ⑩8月30日 これからの公共図書館～学校連携、図書館のスマート化にむけて1名（オンライン） ⑪9月9日 子ども読書レベルアップ研修会1名（オンライン） ⑫9月27日 新潟県公共図書館中堅職員研修1名（オンライン） ⑬9月30日 図書館に向けた図書館等公衆送信サービス説明会1名（オンライン） ⑭10月4日 新潟県公共図書館総合部門研究集会2名（オンライン） ⑮10月6～7日 全国図書館大会群馬大会（オンライン）2名 ⑯10月11日～ リモートラーニングによるデジタル人材育成のための基礎研修1名 ⑰10月27日～全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門）3名 ⑱11月1日 図書館総合展・著作権フォーラム1名 ⑲11月17日 がん情報ギフト5周年記念フォーラム1名 ⑳11月17日 デジタルリテラシー修得（デジタル人材育成のための基礎研修）1名 ㉑11月25日 視覚障害者サービス研修基礎編（オンライン）2名 ㉒11月28～29日 国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座1名 ㉓11月29～12月2日 関東甲信越・静地区図書館地区別研修（茨城県立図書館）1名 ㉔11月30日 訟務研修会（訟務事務の基本・判例の読み方のコツ）1名 ㉕12月6～7日 障害者サービス担当職員向け講座1名 ㉖12月8日 国立国会図書館関西館開館20周年記念講演・シンポジウム1名 ㉗1月26日 令和4年度SDGs推進セミナー2名 ㉘3月8日 新潟県公共図書館専門職員研修会（オンライン）2名			平均 2.2回	達成率108% 評価（5） 100%以上	オンライン研修等の活用によって、年度当初の目標を達成した。 研修・会議等のオンライン開催が増えたことで、全国規模や県外研修・会議等の参加機会が格段に得やすくなった。 次年度も、可能な限り参加機会を確保して、職員の育成と能力向上を図っていきたい。	A	



## 新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）

## 1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

## ○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとした展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布

## ○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・郷土資料の積極的収集・保存
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

## 2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

## ○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等への訪問事業

## ○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の各種研修の開催

## 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

## ○県民の読書環境の整備

- ・読書が困難な県民のための利用環境整備
- ・子どもや若い世代向けの読書推進の取組

## ○県立図書館職員の能力の育成

- ・県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

# 新潟県立図書館運営基本指針 行動計画（修正案）

資料 4

## 1 地域社会への貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県の行政施策と連携した取組		3年後の姿：県各部署との連携により、県の行政施策を県民に届ける	
① 県各部署とのコラボ展示 [新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署との協議</li> <li>展示</li> <li>市町村巡回展示の試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示</li> <li>市町村への巡回展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示</li> <li>市町村への巡回展示</li> </ul>
【指標】 ギャラリー展示回数	2回	6回	6回
② 特設コーナーにおける県行政施策の広報 [新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の実施</li> </ul>
【指標】 コーナー展示回数	8回	24回	24回
③ 県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手續改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出</li> <li>県庁レファレンスの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出</li> <li>県庁レファレンスの実施</li> </ul>
【指標】 県庁貸出冊数	100冊	120冊	120冊
(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用		3年後の姿：資料の充実と活用を図る	
① 新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>保存環境の整備</li> <li>行政資料の収集・展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>保存環境の整備</li> <li>行政資料の収集・展示</li> </ul>

※ 「現状値」は令和3年度実績、指標は全て単年度毎の数値

（「1 地域社会への貢献」の続き）

②	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>
	【指標】デジタル化画像数 ＜現状値：2,650点＞	1,000点	1,000点	1,000点
	【指標】アクセス件数 ＜現状値：11,526件＞	12,000件	12,000件	12,000件
③	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>
	【指標】データベース収録数	2,500件	2,500件	2,500件
	【指標】アクセス件数	5,300件	5,300件	5,300件

## 2 県内図書館への貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援 <span style="float: right;">3年後の姿：市町村等と連携して県内図書館全体の利用環境を改善する</span>			
① 県内図書館等への協力貸出の充実 (高等学校宛ては別途記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>展示用コレクションの貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>セット内容の随時見直し</li> <li>コレクションの随時見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>セット内容の随時見直し</li> <li>コレクションの随時見直し</li> </ul>
	【指標】協力貸出冊数	15,000冊	16,000冊

（「2 県内図書館への貢献」の続き）

②	【指標】 訪問等回数(研修以外)	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施
	【指標】 訪問等回数(研修以外)	20回以上	20回以上	20回以上
③	県立高等学校図書館への支援	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施
	【指標】 高等学校協力貸出冊数	50冊	120冊	150冊 → 200冊
(2) 県内図書館等職員の人材育成		3年後の姿：研修内容や手法の工夫により参加者を増やす		
	各種研修会等の実施	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出
	【指標】 研修会等参加人数（訪問研修以外）	200人	200人	200人
	【指標】 市町村訪問研修回数	10回以上	10回以上	10回以上
	【指標】 訪問研修メニュー数	4	5	5

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県民の読書環境の整備		3年後の姿：サービスの幅を広げることで読書の機会が充実する	
① 利用サービスの改善 [一部新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・調査相談（レファレンス）機能の向上</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>	・左記を含む運用の改善	・左記を含む運用の改善
【指標】入館者数	30万人	40万人	40万人
【指標】貸出冊数	42万冊	45万冊	45万冊
【指標】レファレンス協同データベース登録件数	30件	40件	40件
【指標】SNSへの記事掲載回数	24回	120回	120回
② 読書に困難のある県民へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新コーナー設置と資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>
【指標】サピエ資料の貸出冊数	220点	240点	260点
③ こどもや若い世代の読書推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応を踏まえたこども向けイベントの再開</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども向けイベントの実施</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども向けイベントの実施</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>

※ 「現状値」は令和3年度実績、指標は全て単年度毎の数値

（「3 県民の生涯にわたる学びへの貢献」の続き）

(2) 県立図書館職員の能力の育成		3年後の姿：図書館業務を支える職員の能力向上を図る		
職員の研修機会の充実	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽
【指標】職員全体研修会の開催	2回	2回	2回	2回
【指標】館内研修における職員の発表回数	10回	10回	10回	10回
【指標】職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修を除く）	2回	2回	2回	2回

※ 「現状値」は令和3年度実績，指標は全て単年度毎の数値

## 電子書籍サービスの導入について

### 【事業概要】

県立図書館に電子書籍システムを導入し、居住地や開館時間に左右されないサービスを可能とするとともに、児童生徒の学習への活用や、障害者向けサービスの拡充を図る。

### 1 現状と課題

#### 〔現状〕

- ・新型コロナの影響によって来館者が減少し、貸出冊数も減少している。
- ・新型コロナの影響によって非来館型サービスのニーズが高まり、電子書籍サービスを導入する図書館が大きく増加している。

【都道府県】 導入済:18館 (R2以降導入13館)、R4年度中導入予定:1館

【県内】 導入済:燕市(R2)、新潟市(R3)、三条市(R4)

(R5.1 現在)

#### 〔課題〕

- ・非来館型サービスへの対応
- ・遠隔地の県民向けのサービス充実
- ・若い世代に向けた魅力あるサービスの提供



- 「いつでも、どこでも」読むことができる電子書籍サービスを導入し、県民へ電子書籍へのアクセス機会を提供
- 電子書籍の特長を生かしたサービスを展開し、利用者の拡大を図るとともに従来型の紙図書や図書館にも興味を持つ機会を創出

### 2 サービスの内容

- ・県立図書館の役割である専門書・学術書を中心とした電子書籍コンテンツを整備する。
- ・利用者は県立図書館に利用者登録することで、自身のパソコンやタブレット、スマホ等から、県立図書館のホームページ上の電子書籍システムにアクセスし、電子書籍を利用(閲覧)することができる。

#### 〔重点的対象〕

- ・開館時間内の来館が難しい社会人や子育て世代
- ・1人1台端末化で利用しやすい環境にある児童生徒
- ・図書館に来館が困難な遠隔地居住者や、文字による読書に困難のある方

令和4年度新潟県立図書館運営に対する評価  
意見取りまとめスケジュール

日 程	作 業
3月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事務局が「令和4年度新潟県立図書館運営に対する評価(案)」を図書館協議会に提出</li><li>○ 協議会において質疑、意見交換</li></ul>
～4月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 各委員は、協議会での事務局説明、意見交換等を踏まえ、意見を事務局に提出</li></ul>
～5月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事務局は、各委員から提出された意見を集約し、委員長と調整の上、「令和4年度新潟県立図書館運営に対する評価」を確定</li></ul>
6月又は7月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事務局は、確定した「令和4年度新潟県立図書館運営に対する評価」を新潟県教育委員会に報告</li></ul>